



平成30年1月31日
総合政策局海外プロジェクト推進課
海事局外航課

あきもと国土交通副大臣のパナマ・コロンビア出張の結果概要

あきもと国土交通副大臣は、1月22日から26日まで、パナマ及びコロンビアに出張し、1月23日にパナマ運河庁にて開催された日・パナマ海事政策対話に出席するとともに、コロンビアの政府要人等との政策協議を行いました。

パナマでは、キハーノ パナマ運河庁長官及びモレノ パナマ海事庁副長官出席の下、日・パナマ海事政策対話を行い、拡張パナマ運河における液化天然ガス(LNG)運搬船の航行枠の拡大、パナマ船籍から日本船籍に変更する場合の登録抹消手続きの迅速化、国際海事機関(IMO)における審議の協力等について意見交換を行い、今後も両国の協力を深めることで一致しました。

コロンビアでは、カルドナ運輸大臣及びエスコバル ボゴタメトロ公社総裁と会談を行い、ボゴタメロ等の鉄道案件、港湾等のインフラ・交通分野における協力について意見交換を行いました。

会談等の模様は別紙のとおりです。

【問い合わせ先】

○出張全般関係

海外プロジェクト推進課 三森、清水

代表: 03-5253-8111(内線: 25912, 25913)

直通: 03-5253-8818 / FAX: 03-5253-1562

○日・パナマ海事政策対話関係

海事局外航課 小磯、中村

代表: 03-5253-8111(内線: 43361, 43343)

直通: 03-5253-8620 / FAX: 03-5253-1642

1. パナマにおける第2回日・パナマ海事政策対話の概要

日時:平成 30 年 1 月 23 日(火) 9:00~10:50

場所:パナマ(パナマ運河庁)

主な出席者:(日本側)あきもと国土交通副大臣 他

(パナマ側)キハーノ運河庁長官、モレノ海事庁副長官 他

主な協議結果:

(1) 液化天然ガス(LNG)運搬船の航行

あきもと副大臣は、エネルギー輸送の観点で拡張パナマ運河の重要性が高まる中で、米国産シェールガスの我が国への輸入が将来増加することへの対応として LNG 運搬船の通航制限の緩和を求めるとともに、通航料金への配慮を求めました。

これに対し、キハーノ運河庁長官は、運河を通航する船舶の安全確保を最優先しつつ、通航需要の増大に応えるよう、運河の運用方法の改善により LNG 運搬船の通航隻数の増加に対応するよう引き続き努力していくと応じました。



あきもと副大臣(左)とキハーノ長官(右)

(2) 船籍登録抹消の円滑化

あきもと副大臣とモレノ海事庁副長官は、災害救助等の緊急時輸送に従事する日本籍船確保のため、日本船社が運航するパナマ籍船を日本籍に変更するための手続きを迅速化することの重要性を再確認し、両国の間での協力覚書を早期に締結すべく調整を加速することを合意しました。



海事庁との対話(あきもと副大臣(右前から2番目)、モレノ副長官(左前から2番目))

(3) 国際海事機関(IMO)における協力

あきもと副大臣とモレノ海事庁副長官は、IMO で審議中の温室効果ガス(GHG)の排出削減戦略について意見交換を行いました。

また、退役する船舶を解体する際の安全確保に関するシップリサイクル条約の早期発効に向けた取り組みに引き続き協力していきたい旨モレノ副長官から表明がありました。



拡張パナマ運河の視察を行うあきもと副大臣と通航中の LNG 運搬船

2. コロンビアにおける会談の概要

(1) カルドナ運輸大臣

今年入札が予定されているボゴタメトロのプロジェクトについて、カルドナ運輸大臣と意見交換を行い、あきもと副大臣は、大量の旅客輸送を高い安定性・安全性を確保して継続的に行ってきた日本の鉄道の技術と経験がボゴタメトロに活用されることへの期待を述べました。これに対し、カルドナ大臣は、コロンビア政府として鉄道の再建に大きな関心があり、鉄道を始めとするプロジェクトへの日本企業の参画を期待すると述べました。

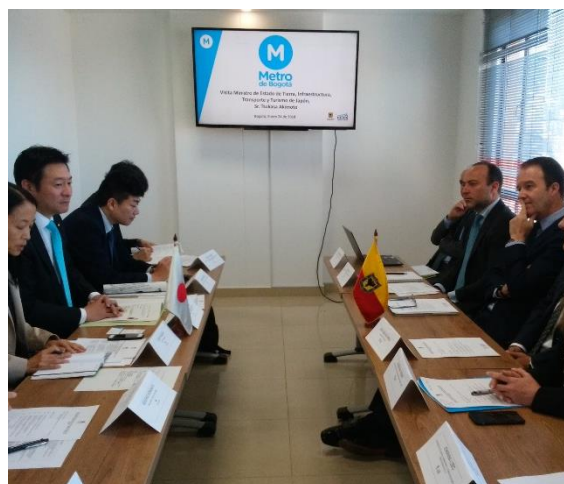
また、港湾分野について意見交換を行い、今後の日本の技術協力に期待する旨カルドナ大臣から表明がありました。



あきもと副大臣(左)とカルドナ運輸大臣(右)

(2) エスコバル ボゴタメトロ公社総裁

ボゴタメトロの計画と進捗について、エスコバル総裁より説明を受けました。これに対し、あきもと副大臣は、バス・地下鉄・鉄道など公共交通機関の拡充により大都市の道路渋滞を改善した我が国の取り組みについて紹介し、日本の鉄道の技術と経験がボゴタメトロに活用されることへの期待を述べました。



あきもと副大臣(左)とエスコバル総裁(一番右)